

USB-MIDI Driver V3.0.4 for Windows XP x64 Edition/Vista/7 V2.2.4 for Windows 2000/XP Release Notes

インストーラーについて

USB-MIDIドライバーのインストーラーは、32ビット OS 用と 64ビット OS 用が用意されています。
32ビット OS 用のインストーラーは、OS によって下記のバージョンの USB-MIDI ドライバーをインストールします。

Windows Vista/7: V3.0.4 (32 ビット版)

Windows 2000/XP: V2.2.4

64ビット OS 用のインストーラーは、USB-MIDI ドライバーV3.0.4 (64 ビット版)をインストールします。

主なアップデートの内容

V3.0.3 → V3.0.4

- Windows 7 に対応しました。
- インストーラーでインストールする仕様に変更しました。
- その他の軽微な不具合を修正しました。

V2.2.3 → V2.2.4

- インストーラーでインストールする仕様に変更しました。
- その他の軽微な不具合を修正しました。

過去のアップデート内容

V3 for Windows XP x64 Edition/Vista/7

V3.0.2 → V3.0.3

- 同時に使用できるクライアント数を、1ポートあたり2クライアントから4クライアントに変更しました。

V3.0.1 → V3.0.2

- 通信の安定性を向上しました。

V3.0.0 → V3.0.1

- 一部のコンピュータで、ドライバーのインストール途中で Windows がフリーズする可能性がある不具合を修正しました。
- その他、一部不具合を修正しました。

V2 for Windows 2000/XP

V2.2.2 → V2.2.3

- 同時に使用できるクライアント数を、1ポートあたり2クライアントから4クライアントに変更しました。

V2.2.1 → V2.2.2

- 通信の安定性を向上しました。

V2.2.0 → V2.2.1

- 一部軽微な不具合を修正しました。

V2.1.7 → V2.2.0

- MIDI ポート名が表示されるよう変更しました。従来のポート名をお使いになりたい場合は、USB-MIDI ドライバーのコントロールパネルを開き、「Use Device Name As PortName」のチェックを外し、コンピュータを再起動してください。
- パッチ設定の保存方法を変更しました。以前のバージョンで保存されたパッチ設定は読み込まれませんので、再度設定してください。
- 管理者権限のないユーザーが使用した場合に、アプリケーションが反応しなくなったり異常終了することがある不具合を修正しました。
- その他、一部不具合を修正しました。

V2.1.6 → V2.1.7

- ProTools との使用時、デバイスを接続していないときに無効な MIDI 出力ポートが一つ検出されてしまう不具合を修正しました。
- 入力ポートのマルチクライアント対応をしました。
- ドライバーを削除するプログラムを添付しました。(インストールガイドをご参照ください。)
- その他、一部不具合を修正しました。

V2.1.5 → V2.1.6

- USB-MIDI Driver のコントロールパネルでスルー設定はできないことがある不具合を修正しました。
- Studio Connections “Recall” に対応しているエディターを使用する際の MIDI データ転送の動作を改善しました。

V2.1.4 → V2.1.5

- UW500 をご使用時、USB-MIDI ドライバーと ASIO ドライバーの両方がインストールされている場合に、コンピューターをシャットダウンできないことがある不具合を修正しました。
- コントロールパネルの[Send All Note OFF]ボタンをクリック時、全チャンネルにノートオフを送信するようにしました。

V2.1.3 → V2.1.4

- インテルのハイパースレディングテクノロジーを有効にして、DME designer と使用している場合に、通信が途切れてしまう不具合を修正しました。
- MIDI データ送信中にデバイスを抜くと、コンピューターがドライバーを認識しなくなる不具合を修正しました。
- 一部のアプリケーション(楽譜作成ソフト Sibelius シリーズなど)で正常に送受信できない不具合を修正しました。

V2.1.1 → V2.1.3

- インテルのハイパースレディングテクノロジーを有効にして、複数の USB-MIDI デバイスを接続した場合には、ドライバーのパッチベイ画面または MIDI アプリケーションを立ち上げると、それまでに受信していた MIDI データがまとめて出力される不具合を修正しました。
- その他、一部不具合を修正しました。

V2.1.0 → V2.1.1

- インテルのハイパースレディングテクノロジーを有効にして、複数の USB-MIDI デバイスを接続した場合には、一つの MIDI データが二重になって出力される不具合を修正しました。

V2.0.9 → V2.1.0

- システムエクスクルーシブメッセージの処理を改善しました。
- インテルのハイパースレッディングテクノロジーを有効にして、長時間使用した場合に起こる不具合を修正しました。
- Windows 2000 を搭載した一部のコンピューターで起こる不具合を修正しました。

V2.0.8 → V2.0.9

- MIDI アプリケーションソフトの起動、インターネットエクスプローラーの動作に関する一部不具合を修正しました。
- 一部の MIDI アプリケーションは、終了時に使用していたドライバーをクローズしませんが、そのアプリケーションを終了後もドライバーを使用できるように修正しました。
- その他、一部不具合を修正しました。

V2.0.7 → V2.0.8

- 東芝製ノートパソコン「Dynabook SS」の特定機種と USB-MIDI デバイスを直接接続したご使用の場合に起こる不具合を修正しました。
- MIDI 入力ポートを複数開いた場合、任意の入力ポートにデータを送信しても、すべての入力ポートに同じデータが送られる不具合を修正しました。

V1.6.1 → V2.0.7

- SongFiler、CardFiler で通信に失敗する不具合を修正しました。
- 複数のアプリケーションで MIDI 入力ポートを選べない不具合を修正しました。
- その他、一部不具合を修正しました。

V1.5.0 → V1.6.1

- 「サウンドとマルチメディア」のプロパティにて、任意の MIDI 出力ポートが選べない不具合を修正しました。
- 一度パッチ画面を開かないとパッチの設定情報を読み込まない不具合を修正しました。
- その他、一部不具合を修正しました。

V1.2.0 → V1.5.0

- Windows XP に対応しました。
- 一部不具合を修正しました。

V1.0.1 → V1.2.0

- UW500 に対応しました。

- 一部不具合を修正しました。

V1.0.0 → V1.0.1

- マルチプロセッサコンピュータ(CPU が複数あるコンピュータ)で、Windows 2000 を使用している場合の一部不具合を修正しました。